

【New Poetry House 日誌】
ゆむ無き詩の鑑賞会
 The Poetry With Noname
 奇数月の第二日曜日、定期開催
 ひよりひよりの
 詩への想いを大切に。



◇ 2011/07/10 (Sun)

いつもの文学資料館に五名が集まった。ちょっと振り返ってみると、第一回目を開催した時の参加者と、顔ぶれは違っても同じ人数。今日は（参加者数が）ちょっと少なかったかな？ なんて思ってから、逆に、そんな風に感じられるように、なったと言えるかも♪
 少人数の時は、持ち寄った詩の編一編を、よりじっくり味わうことが出来る。思い付くまま、自由に発言して、和気あいあいと、かつ濃密な時間を堪能☆ 最後は、ワークシヨップ「新しい言葉をつくってしまっ」で「トバのストレッチも！」

五人で鑑賞した詩のタイトルは・・・
 ・夕焼け
 ・そらおそろしい
 ・詩の磔（一部抜粋）
 ・橋をわたる
 ・さかな屋

この日鑑賞した「そらおそろしい」。実はこの詩、かなが持ち込んだものですが、出会いはインターネット、詩の投稿板のようなところ。「現代詩フォーラム/ http://http://forum.com/forum/」今度は何を持って行くのかな、なんて思いながら覗いてみたのですが、本当にたくさんの人達が詩を楽しんでいます。紹介することを了承してくださったるりらさん、ありがとうございます。
 最初はとにかく面白い！ って思って、それから「さあがり」はどうとう出来ず終いだっただなあ・・・と似たことないトバに、妙にこだわったりしたなあ・・・とか子供の頃の事を素直に思い返しました。
 さらにそれから、いつもメーターが振り切ってしまうようだった感覚を引き連れながら、私の中にある風景が目の前に広がって来ました。子供には子供のジョーシキみたいなものがある、一個一個の出来事がとんでもない大事だった。
 そんな濃厚な空気が充滿していながら、この詩からは爽やかさを感じるのだから、この晴れっぶり、ある意味ほんとは、そらおそろしい！
 みんなで鑑賞していて、それぞれの子供時代に、この詩がスッとアクセスしていると感じました。

「そらおそろしい」 作者？
 さかあがりか できないころ
 さかあがりか あいまいに
 けんかした
 さかあがりか あいまいに
 学校へ 行った
 おまえんちの家の前の空き地に
 むかしえ なまくびが ならべられとったんと
 じゃけえ おまえんち のろわれとるんじや
 けけけ
 さかあがりか できない日
 そらは とびぬけて おそろしい
 殺風景という字みたいにおそろしい
 さかあがりか できた日
 ころすふうけいの空き地や
 そらを
 世界を
 ぐるんぐるんなんどもまわした
 いまでも わたしは
 あんなふうに まわしたい
 嫌なことをいう子のことも
 好きじゃったから
 ああ
 そら
 おそろしいほど 晴れてる

◇ 2011/09/11 (Sun)

出張版☆ 秋田県現代詩人協会さん開催「詩の小径・文学散歩」に、みんなで遊びに行かせて頂いた。
 岩城町の天鷲村で、美味しいお屋敷を食べ、天鷲城・亀田城・茶室天鷲庵などなど沢山の見所を回った。特に刺激を受けたのは阿部米蔵美術館。木彫が語りかけてくる言葉に、しばし立ち止まり耳を澄ませます。県現詩人協会の米屋さんが作品について話されていたことが、とっても印象に残った。一人で見るといいけど、こんな風にお話を聞かせて頂ける、もっと楽しい！

詩の朗読交流は、古い農家を移築した佐々木家（由利本荘市指定文化財）にて。残暑厳しい一日だったけど、今の住宅とは違う、涼やかな風走る心地良いお座敷。それぞれの詩も、伸びやかに響いていました♪

